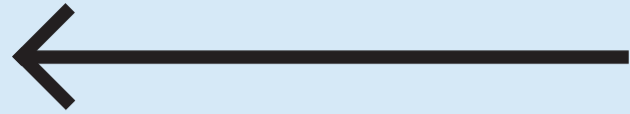


## 咳・咳払い の飛沫

3m 程度



マスクなし

そんなに距離をとれますか？  
不意な咳に備えてマスクの  
着用をしましょう。

1m 以上



マスクあり

横や後ろにも飛沫が飛びます。  
院内では隔離が必要になります。

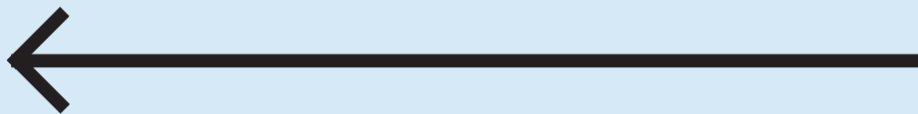
1m 程度



マスクを  
手でおさえる

マスクを着けるだけでは不十分。  
マスクのうえから手でおさえ  
ましょう。

5m 程度



マスクなし

そんなに距離をとれますか？  
不意なくしゃみに備えてマスクの  
着用をしましょう。

1m 以上



マスクあり

横や後ろにも飛沫が飛びます。  
前後左右に配慮しましょう。

1m 程度

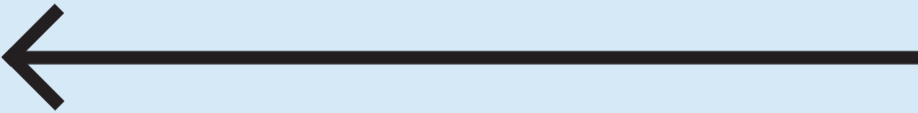


マスクを  
手でおさえる

マスクを着けるだけでは不十分。  
マスクのうえから手でおさえ  
ましょう。

## くしゃみ の飛沫

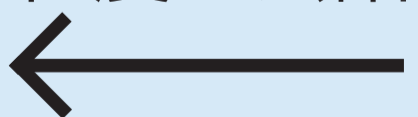
5m 程度：大声・大泣き



マスクなし

そんなに距離をとれますか？

2m 程度：会話



マスクなし

そんなに距離をとれますか？

## 声 の飛沫

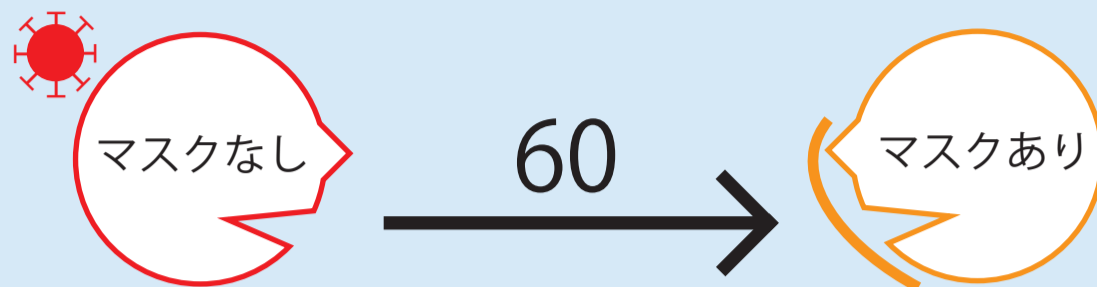
1m 程度



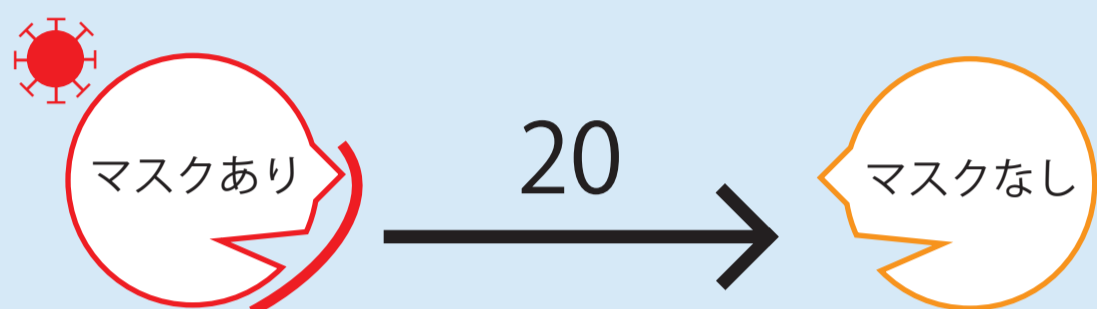
マスクあり

マスクを着けて、  
会話はひかえめに。

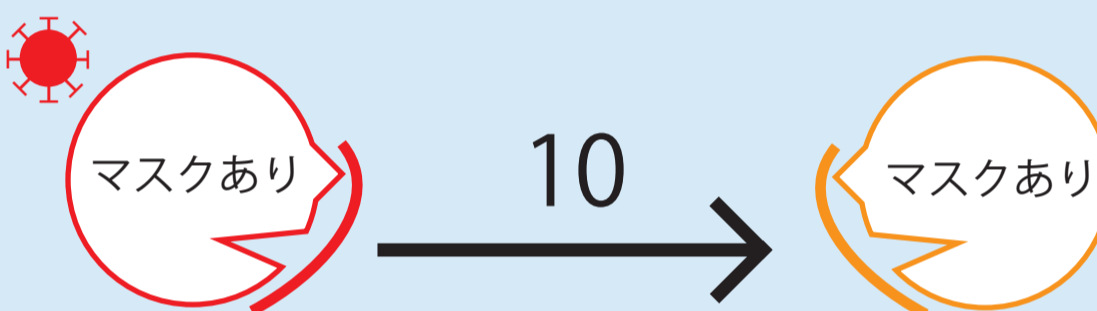
# 感染のしやすさ



自分を守る効果は限定的



他人に迷惑をかけないようにする効果は大きい



お互いにマスクを着けるとさらに効果は大きい

マスクは周りの方に迷惑をかけないようにするために着用します。  
マスクが正しく着用できない場合は、代替りの手段をとりましょう。

- 最低 2m 以上の距離を保つ
- パーテーションで隔てる →
- その他工夫※別紙参照

マスクができる人とできない人の共存のために、待合室の一部を **子ども部屋** としてパーテーションで隔てています。

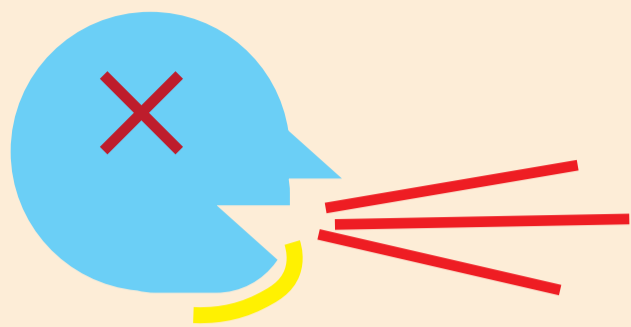
**マスクができない人は子ども部屋の中で待機** いただくようお願いいたします。また、マスクをしないまま他の患者さんに近づかないようにご留意ください。

マスクなしの移動は、しゃべらず、速やかにお願いします。

より多くの方が共存できるように、お互いに配慮しあいましょう。  
ひとりひとりが感染予防をしっかり行うことで、社会活動の制限を減らせます。より自由な社会活動のためにも感染対策を心がけましょう。

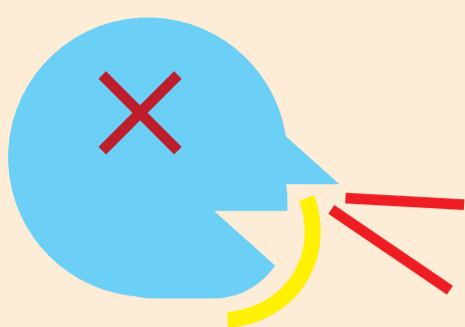
## おしあげ耳鼻咽喉科

# 第6波が来る前に再確認を



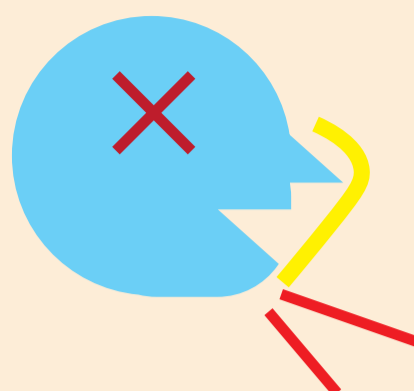
あごマスク

マスクをしている意味がない。子どもを中心に、マスクの表面をなめてしまうと、むしろ感染源になってしまうので気を付けましょう。

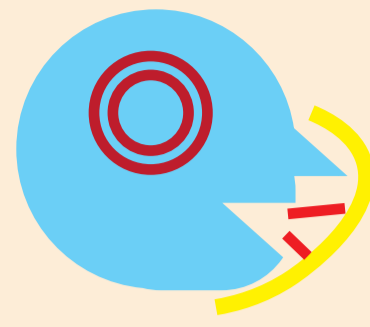


鼻マスク

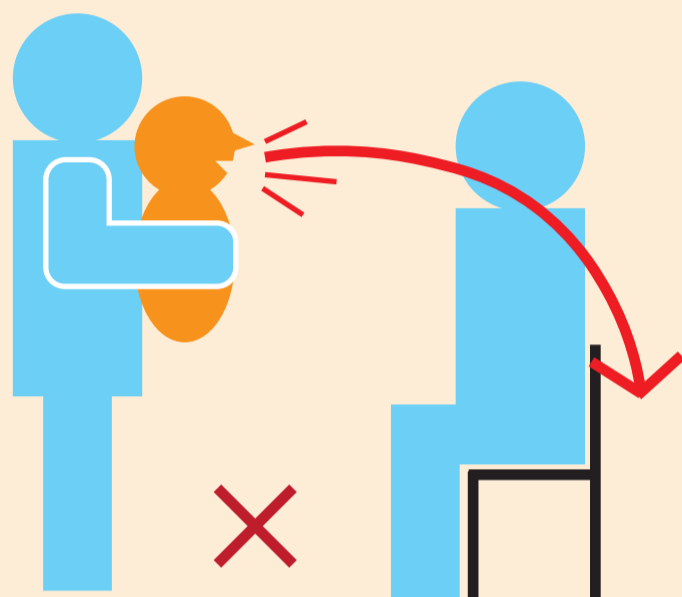
ウイルスは鼻からも飛び散ります。周りの方の迷惑にならないように、鼻までマスクを。



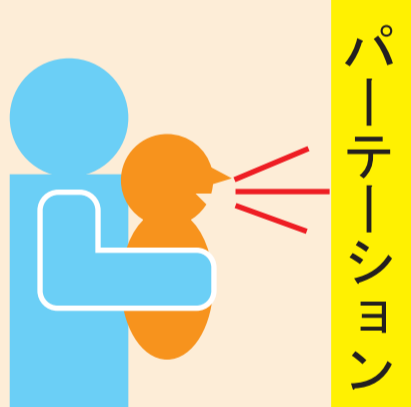
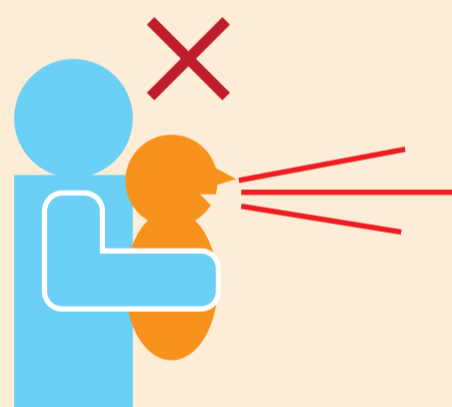
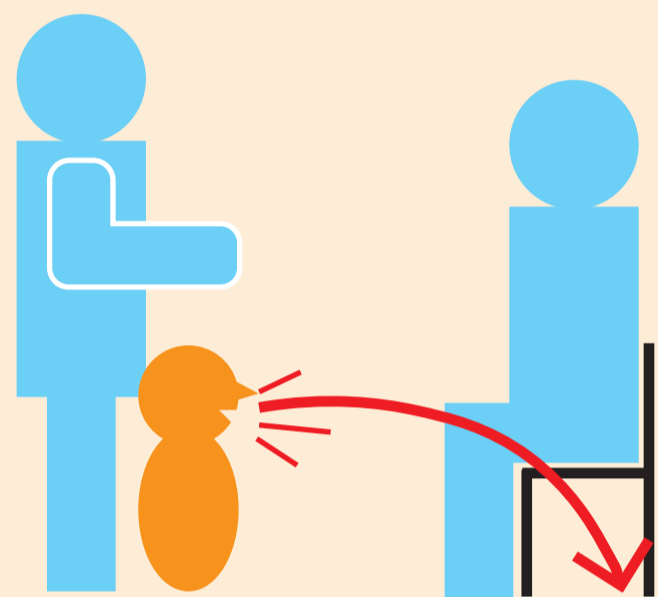
あごが出ているだけでも飛沫の漏れが増えます。



鼻からあごの下までマスクで覆いましょう。また、ゴムひもを交差させるとマスクを着けていないのと同じことになります。



位置が高くなるほど、顔を上に向けるほど、飛沫は遠くの人まで届くことになります。



パーティション



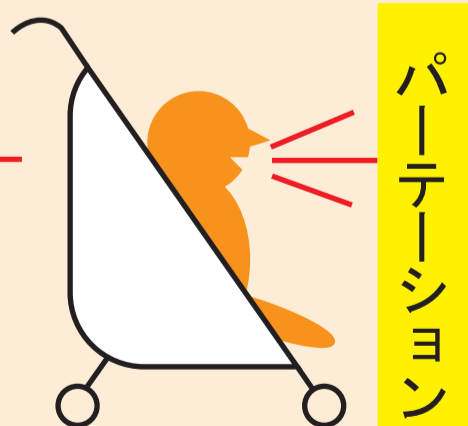
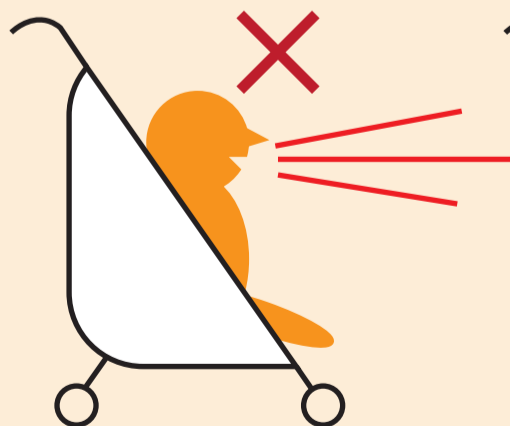
マスク



ケープなど

マスクなしの前向き抱っこは、周りの方に迷惑となります。パーティションでさえぎるか、マスクの着用、ハンカチや袖でお子さんの口元をおさえるなど周りの方へ配慮をしましょう。人ごみの中では前向き抱っこは不向きです。空いている動物園など、場所を選んで前向き抱っこにしてあげましょう。

向かい合わせ抱っこにして、保護者の服で飛沫をおさえてあげましょう。口元を腕で覆ったり、ケープなどで頭まで覆ってあげるととても良いでしょう。



パーティション



マスク



レインカバー  
や ケープ など

パーティションでさえぎるか、マスク着用を心がけましょう。

マスクが着けられないようであればレインカバーをかけたり、フードにケープなどをかけパーティションの代わりにできるととてもいいでしょう。

工夫の提案ですので、他にも方法があれば是非感染対策をやっていきましょう。

おしあげ耳鼻咽喉科

# 咳・咳払いをしないでください

咳は隔離対象ですので、すぐに受付に申し出てください。

咳払いは、意識してわざと行う行為ですので、待合室で行わないでください。

咳払いをしたい場合は、屋外に移動のうえ、周りに人がいないことを確認して行ってください。

“咳払いが出てしまう”は咳払いではなく、咳にあたります。隔離対象になりますので、受付に申し出てください。

咳は、ご本人が気づいていない場合がございますので、待合室で咳をしている方を見かけた場合は、受付に声をかけて教えていただくと周りの患者さんが助かります。



# 鼻かみをしないでください

鼻をかむと大量の飛沫とエアロゾルが出ますので、鼻を拭く程度にとどめてください。

どうしても鼻をかみたい場合は、屋外に移動のうえ、周りに人がいないことを確認して、鼻をかんでください。

また、診察前に鼻をかむと、鼻水が減るため、鼻の病状を診断できなくなります。特に、鼻風邪や副鼻腔炎の診断精度は著しく下がりますので、ご注意ください。



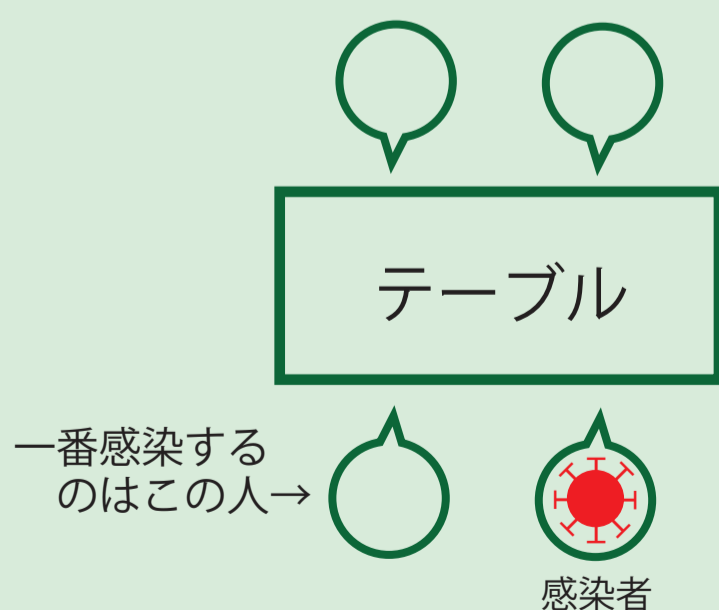
おしあげ耳鼻咽喉科

# なんで耳鼻咽喉科の 感染予防ガイドラインは 一番厳しいの？

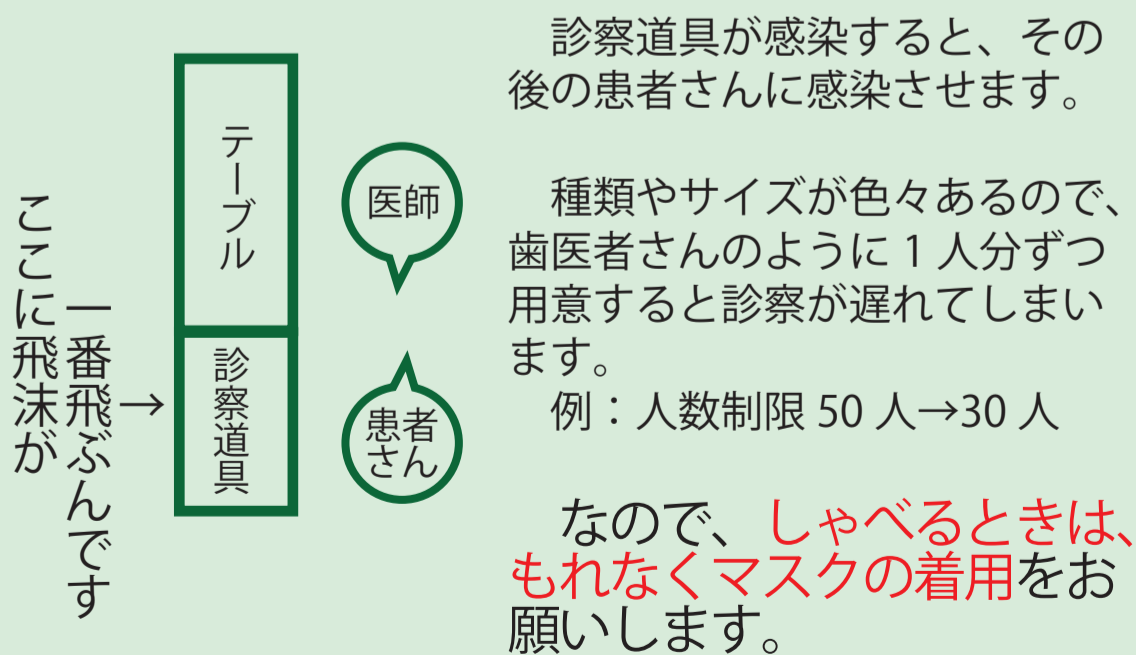
コロナ禍での耳鼻咽喉科の診療ガイドラインは全診療科の中でもっとも厳しいものとなっています。国毎の医療体制によって多少異なりますが、耳鼻咽喉科はどの国でも最も感染予防が厳しくなっています。

- ・耳鼻咽喉科の待合室は利用者が多い  
→密集・密接
- ・小児から高齢者まで患者さんが様々  
→免疫力の問題、感染予防が一律には難しい
- ・新型コロナの初期の患者さんが多い  
→**軽い風邪症状の時期が最も感染力が高い**  
(肺炎起こすころには感染力が下がる&内科に行く)
- ・鼻やノドという、ウイルスがもっとも多いところを処置する
- ・診察時に子どもたちが泣き叫ぶことが一番多い  
など

一番感染しやすいのはどの席の人？



診察室ってこうなってます。



## おしあげ耳鼻咽喉科

# トリアージ対応の徹底協力をお願いします

2021年10月以降、全国적으로ご協力いただけない方が増えています。一部のそういう方々のために各病院で感染対策の強化をせざるを得なくなっています。

その一環として当院では、**密回避のために来院人数の制限**、および、徹底的な**外出協力**をお願いしております。

待合室内に申告漏れの方がいるかもしれませんので、待合室内でも距離の確保をお願いします。距離が保てない場合は、外出をするようご協力お願いし申し上げます。

## <トリアージ対象の症状>

☆10日以内に発熱（37.0℃超え、未就学児は37.5℃超え）、のどが痛い、咳、息苦しい、だるさのいずれかがあった方

☆10日以内に嗅覚・味覚異常（においや味がへん、にがい、クサイも含みます）があった方

日本耳鼻咽喉科のガイドラインで **待合室の利用が禁止** されています。

1度でも症状があった場合、その後**症状が消えても10日間他人に感染させます**ので、10日以内の症状は必ずご申告ください。

のどの痛み～イガイガ、咳、息苦しさなどの症状が軽いほど感染力が強くなりますので、**症状が軽いほど必ずご申告ください**。

「喘息の咳だと思えます」 「普段から咳が出てるんです」

「朝だけ1度咳してました」

「以前と同じ副鼻腔炎で鼻水が臭いだけです」

「花粉症で鼻がつまってるからニオイがしにくいだけです」

**そう言って、新型コロナであった方が多数出ております**ので、自己判断せずに必ずご申告ください。

トリアージ対応（感染対策）は、診断の目的ではなく、感染予防のための制度です。わずかでも該当すればご申告ください。受診目的でなくても、必ずご申告ください。

## おしあげ耳鼻咽喉科

# 院内感染対策ご協力をお願い

## 日本耳鼻咽喉科の診療ガイドライン

に基づき 当院での対応 について  
“**新型コロナ、および、それと紛らわしい症状の方が、他の患者さんと居合わせないようにしなさい。**” というものです。

“来院前に、電話もしくはオンライン診療で症状を確認して、来院時は最小限の診察のみ行うように。” ともなっています。

ただ、患者さんにとっては大変不便なため、当院では“受付時に申し出ていただく” こととさせていただいています。**ご協力いただけない方は他の患者さんを危険にさらすことになるため来院の制限をすることになります。**（オンライン診療での対応、来院時の隔離対応など。）

都心部の多くのクリニックでは**感染対策をしていない**、ではなく、**できる場所がない**ために感染対策が緩いことをよく見かけます。当院では患者さんの安全を最優先に、ガイドラインに準じて、大病院に準ずる感染予防環境を用意しております。ご協力お願いします。

**院内では全員不織布マスクの着用**をすることとなっております。  
（日本環境感染学会のガイドライン）

乳幼児などマスク着用が難しい場合は、距離（大声・くしゃみは5m以上）を保つなどの対策が必要です。2歳未満はマスク着用の際は目を離さず、見守りをしっかりと。また、マスクを着ける代わりに、他の対策・工夫をしましょう。 処置を受ける際は年齢問わずマスク着用を。

（日本小児科学会のガイドライン）

パーティションが増えるほど、換気が悪くなります。飛沫予防とエアロゾル予防を両立するためには、パーティションを最小限にする必要があります。そのため、マスクを始めとする諸々の感染対策や工夫にご協力お願いします。

おしあげ耳鼻咽喉科

# トリアージ室の流れ

受付で申告

帰り



## トリアージ室

- ・待機
- ・問診票の記入
- ・お会計

検温・問診票が終わりましたら、診察の準備をしてお待ちください。

※ガイドラインで、トリアージ対象者は“院内で極力しゃべらないように”となっております。症状は口頭では話さず、問診表にご記入いただくようお願いします。必要に応じて医師から質問をしますのでその際は口頭でお答えください。

**お話をするときは絶対にマスクを外さないでください。**



## 診察室

### マスクをしていないお子様について

#### ＜お子さんの診察の場合＞

速やかに、膝の上で前向き抱っこをしてください。スタッフのほうでマスクを着用しますので、お子さんの手が出ないようにがんばって抱きしめておいてください。

首が座っていない乳児は横抱きにしておかけください。

※乳幼児の診察・処置時のマスク着用は日本小児科学会の指導です。



必要に応じて



## 陰圧室

- ・内視鏡
- ・ウイルス検査など

#### ＜お子さんの診察がない場合＞

待てる子はお部屋でお待ちください。

抱っこが必要な場合は向かい合わせ抱っこをしていただき、お子さんの顔が診察道具と反対を向くようにしておいてください。

**診察後もお会計までトリアージ室をご利用いただきますので、貴重品を除き荷物は置いたままかまいません。**

おしあげ耳鼻咽喉科